

# 患者中心の医療を学ぶ ウェブセミナー

## 患者団体と製薬企業 の新たなパートナー シップを目指して

日時

**2020年5月22日（金）**  
**午後6時30分～8時30分**

### 話題提供

宿野部武志 一般社団法人ピーベック代表理事  
武田飛呂城 一般社団法人ピーベック理事  
朝枝由紀子 **JPPaC** 会員 **Patientricity Medpartner** 医師  
畑中和義 **JPPaC** 理事長  
栗本 製薬企業社員

### ファシリテーター

吉田智美 **JPPaC** 会員 医薬品産業イノベーション研究会代表

参加費無料 **ZOOM** 定員 100名

参加申し込み：[info@jppac.or.jp](mailto:info@jppac.or.jp)  
氏名、できれば所属、お立場を記入ください

主催：**NPO** 法人 患者中心の医療を共に考え共に実践する協議会

共催：一般社団法人 ピーベック  
医薬品産業イノベーション研究会

**参加者募集！**  
「患者協働の医療」の推進するために、私たちができることを考えよう。

対象  
患者（会）・市民  
患者アドボケート  
製薬会社  
ヘルスケア関連会社  
医療者

参加者は、  
**ZOOM** のチャット  
で参加

「人々には、自分たちの医療の計画と実施に個人的および集団的に参加する権利と義務があります」  
**WHO** アルマアタ宣言 1978年

# 開催趣旨

「患者の声」には医療を変える価値がある。  
医薬品のライフサイクルのあらゆる段階で「患者の声」が必要不可欠になっています。

これまで、患者（会）と製薬会社の対話は十分になされてきたでしょうか。相互理解は十分であったでしょうか。お互いが期待するもの、ゴールは一致していたでしょうか。

このセミナーのテーマは、“患者（会）と製薬企業の双方にとって意味ある「患者協働」とは何か、私たち一人一人にできることは何かを考える”です。

宿野部さんは一般社団法人ピーベックの代表理事で、一般社団法人パシエントフッドの代表理事でもあります。

武田さんは、ピーベックの理事で、慢性疾患セルフマネジメントプログラムの活動もされています。

ピーベックは、患者（会）を支援する非営利の団体です。そのミッションは、**“病気をもつ人に力を”**  
“病気があっても大丈夫と言える社会の実現へ。病気をもつ人と患者会の、より良い活動を支援します。”

宿野部さんと武田さんから、患者にとっての患者協働とは何か、製薬会社に期待することは何かをお話いただきます。

栗本さんは製薬会社社員の一員として参加いただきます。

朝枝さんは、**JPPAC**の会員であり、製薬会社を経験して**PATIENTRICITY MEDIPARTNERS**を立ち上げられた臨床医師です。希少疾患などの患者のアンメートニーズを解消したいという使命感を持たれています。医師の眼、製薬企業メディカルの眼から、患者と製薬企業の協働の在り方について語っていただきます。

**JPPAC**は患者中心の医療を考える**NPO**法人です。昨年3月から「患者会と製薬企業のパートナーシップPJ」を立ち上げました。

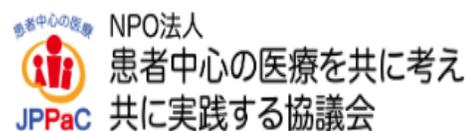
**PJ**の目的は、患者団体が製薬企業とパートナーシップを構築するための要件を定義することです。そのために欧米の患者団体と製薬企業との関係を調査してきました。この1年間の調査結果が報告されます。

ファシリテーターの吉田さんは、「医薬品産業イノベーション研究会」の代表で、**JPPAC**の会員です。これまで「患者協働の医療」を推進する活動をされてきました。この4月から筑波大学の博士課程で患者協働と製薬会社経営について研究を開始されました。

ピーベックと**JPPAC**では、ヨーロッパにおける**EPF EUROPEAN PATIENT'S FORUM**や**PFMD PATIENT FOCUSED MEDICINE DEVELOPMENT**などのような患者団体と製薬企業のプラットフォームを構想中です。関心のある方はぜひ仲間にお入りください。



PATIENT AT  
THE HEART  
OF WHAT WE  
DO NHS



医薬品産業  
イノベーション  
研究会

お断り：  
このセミナーは、当初、患者（会）の人とヘルス企業関係の人のグループワークを計画していました。コロナ感染の影響で**ZOOM**によるウェブセミナーに変更しました。